

[物理化学標準]

メタン分子  $\text{CH}_4$  の光電子スペクトルには、図 1 のように 2 つのピーク  $P, Q$  が観測される。スペクトルの形状を分子軌道法、原子価結合法に基づいた電子構造を使って解析する。以下の問 (1), (2) に答えよ。

(1) 〈分子軌道法〉

- (a) 4 つの水素原子の 1s 原子軌道関数  $\varphi_j$  ( $j = 1, 2, 3, 4$ ) の 1 次結合から作られるメタンの対称性を満たした基底関数を考える(図 2)。表 1 を使って、 $a_1$  対称の軌道が 1 つと、3 重に縮重した  $t_2$  対称の軌道が得られることを示せ。ただし、対称操作によって不变に保たれる 1s 原子軌道関数の個数を数えることで、 $\varphi_j$  ( $j = 1, 2, 3, 4$ ) を用いたときの基底関数の可約表現の指標が

$$\chi(\hat{E}) = 4, \quad \chi(\hat{C}_3) = 1, \quad \chi(\hat{C}_2) = 0, \quad \chi(\hat{\sigma}_d) = 2, \quad \chi(\hat{S}_4) = 0$$

と求められることを使ってよい。ここで、

$a_1$  対称の基底関数は  $\varphi_1 + \varphi_2 + \varphi_3 + \varphi_4$  に比例し、

$t_2$  対称の 3 個の基底関数はそれぞれ  $\begin{cases} \varphi_1 + \varphi_2 - \varphi_3 - \varphi_4 \\ \varphi_1 - \varphi_2 + \varphi_3 - \varphi_4 \\ \varphi_1 - \varphi_2 - \varphi_3 + \varphi_4 \end{cases}$  に比例する。

- (b) 炭素原子の 2s, 2p 原子軌道関数を考える。これらはそれぞれ (a) で示された基底関数との 1 次結合を考えることで、メタンの分子軌道の構成要素となり得る。その理由を  $a_1$  対称、 $t_2$  対称の基底関数のそれぞれの場合について述べよ。
- (c) 基底状態における価電子の電子配置を  $(a_1)\boxed{\alpha}(t_2)\boxed{\beta}$  と表すとき、 $\boxed{\alpha}, \boxed{\beta}$  にあてはまる整数を答えよ。
- (d) 2 つのピーク  $P, Q$  のうち、一方が他方よりも強く観測される根拠を簡潔に述べよ。ただし、 $a_1$  対称、 $t_2$  対称の分子軌道から連続状態への光イオン化の遷移モーメントの大きさが等しいものとする。
- (e) 2 つのピーク  $P, Q$  を与える分子軌道の対称性をそれぞれ推定せよ。
- (f)  $a_1$  対称、 $t_2$  対称の軌道に対して、軌道エネルギーの値をそれぞれ  $\varepsilon(a_1), \varepsilon(t_2)$  とするとき、その大小関係を簡潔な理由とともに答えよ。

(2) 〈原子価結合法〉

- (g) 炭素原子上に想定される混成軌道を何と呼ぶか。
- (h) 空間的に局在した C-H 結合を表す軌道関数から 1 電子を取り去ったメタンの 1 値カチオンの共鳴構造として、4 つの等価な構造を考えることができる(図 3)。 $\Phi_j$  ( $j = 1, 2, 3, 4$ ) をカチオンの共鳴構造を記述するための基底関数とするとき、これらの 1 次結合によって記述される、カチオンの 4 つの電子状態を対称性によって分類せよ。
- (i) 上記の問 (h) の結果を使って、2 つのピーク  $P, Q$  のうち、一方が他方よりも強く観測される根拠を簡潔に述べよ。

表1 メタン分子の属する点群  $T_d$  の指標表

	$E$	$8C_3$	$3C_2$	$6\sigma_d$	$6S_4$	
$A_1$	1	1	1	1	1	$x^2 + y^2 + z^2$
$A_2$	1	1	1	-1	-1	
$E$	2	-1	2	0	0	$(3z^2 - r^2, x^2 - y^2)$
$T_1$	3	0	-1	-1	1	$(R_x, R_y, R_z)$
$T_2$	3	0	-1	1	-1	$(x, y, z), (xy, xz, yz)$

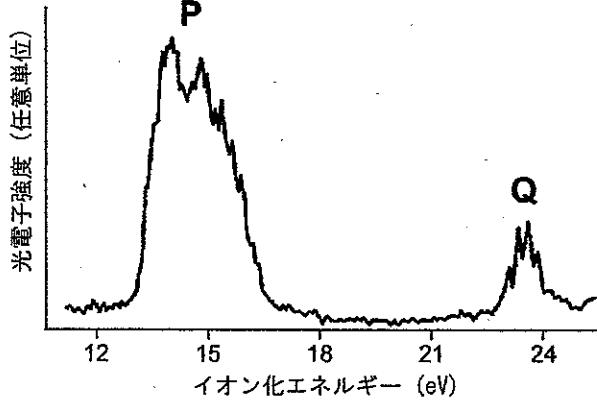


図1 メタン分子の光電子スペクトル

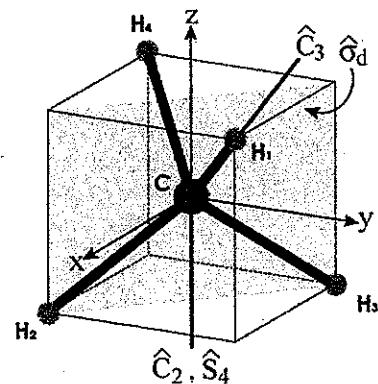


図2 メタン分子に対する対称操作の例と座標軸.  $j$  番目の水素原子の  $1s$  原子軌道関数を  $\varphi_j$  とする.

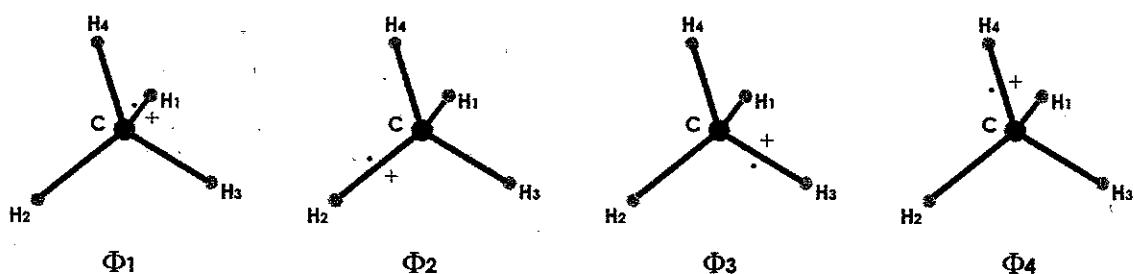


図3 メタン分子の1価カチオンに対する共鳴構造. それぞれの共鳴構造に対応する電子配置を  $\Phi_j$  ( $j = 1, 2, 3, 4$ ) としている.